



# 光春小だより

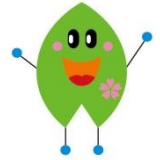
練馬区立光が丘春の風小学校 校長 世古 徳浩

H30. 2. 28

〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1

Tel 3976-5861

Fax 5383-3592

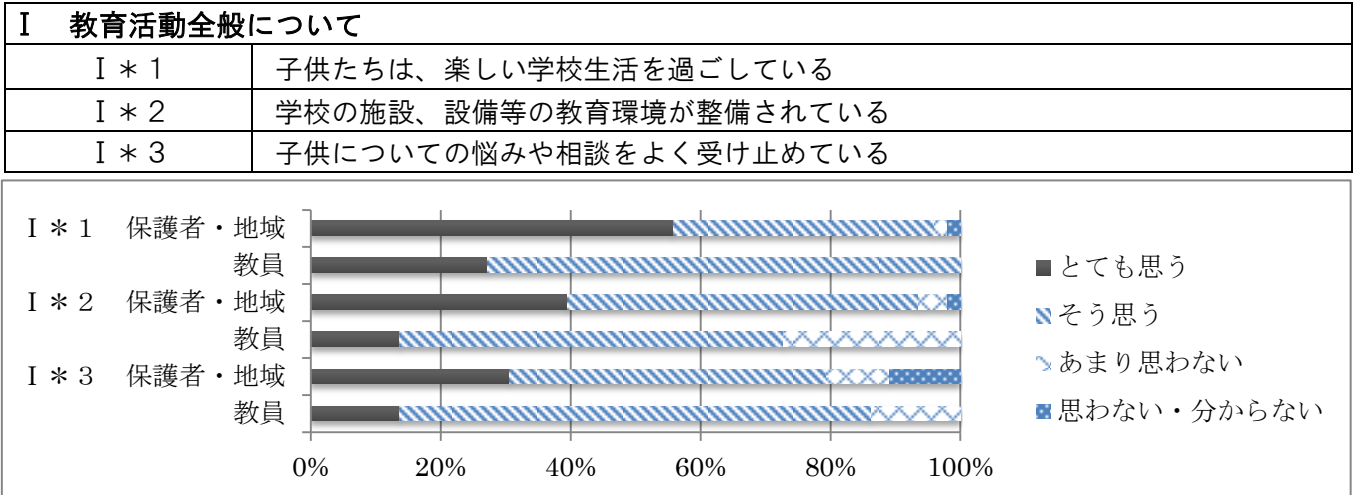


春風ちゃん

## 学校評価集約

### 【保護者・地域向け・教員】

回答数 保護者・地域数 250 (58%) 教員数 22

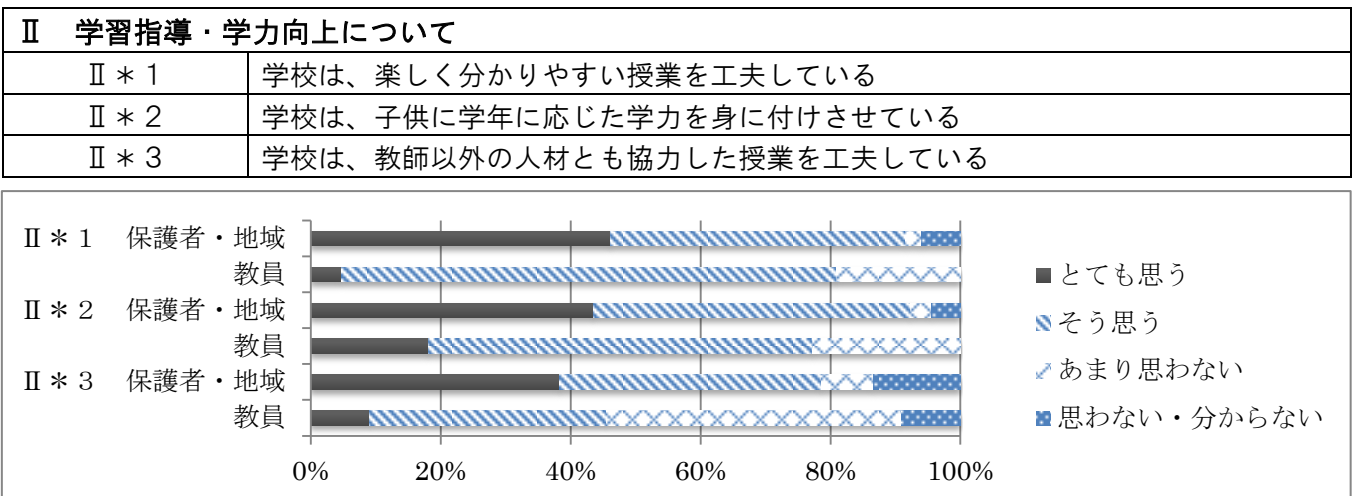


#### < I \* 2について >

収納場所に限りがあり、荷物が廊下に落ちている場面がよく見受けられる。フックの増設、特別教室のロッカー等を活用するなどの対策を講じたが解消には至っていない。荷物が落ちているのを見かけた時に、児童自らが拾う習慣を身に付けさせていく指導を引き続き行っていく。

#### < I \* 3について >

保護者・地域、児童共に、肯定的な回答をした割合が8割に達していない。スクールカウンセラーや心のふれあい相談員との情報共有をさらに深め、子供たちが悩みを相談しやすい環境を作っていく必要がある。また、担任だけではなく、養護教諭や専科教員も積極的に児童へ声かけしていくなど、全校で児童を見守っていく体制を整える。



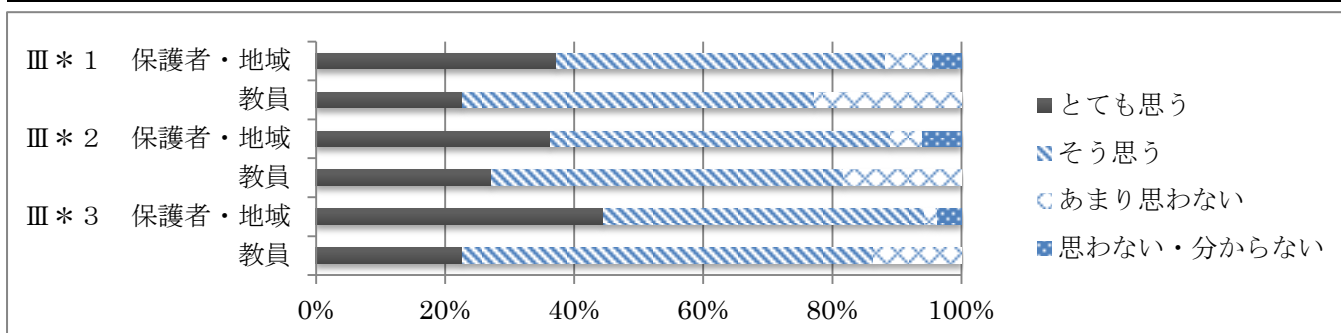
#### < II \* 1・2について >

学校は、児童の成長過程に応じた学力を身に付けさせるために、中堅教員が全教員対象に指導技術を高めさせる校内研修をしたり、特定の教科で校内研究を行ったりしている（本年度は道徳）。児童一人一人がより高い資質・能力を身に付けることができるよう、引き続き、教員の自己研鑽を積む機会や研修の場を設定していくようにする。

<Ⅱ\*3について>

学校行事では、外部の関係諸機関・講師を活用し、円滑に実施することができた。(オリンピックメダリストの招聘・警察・消防等諸機関からの指導、民間企業との連携等)一方、各学年における学習の中で、地域の人材を活用した指導が少なかった。来年度の指導計画作成にあたり、指導内容を見直し、より充実した指導ができるよう人材の活用を図っていく。

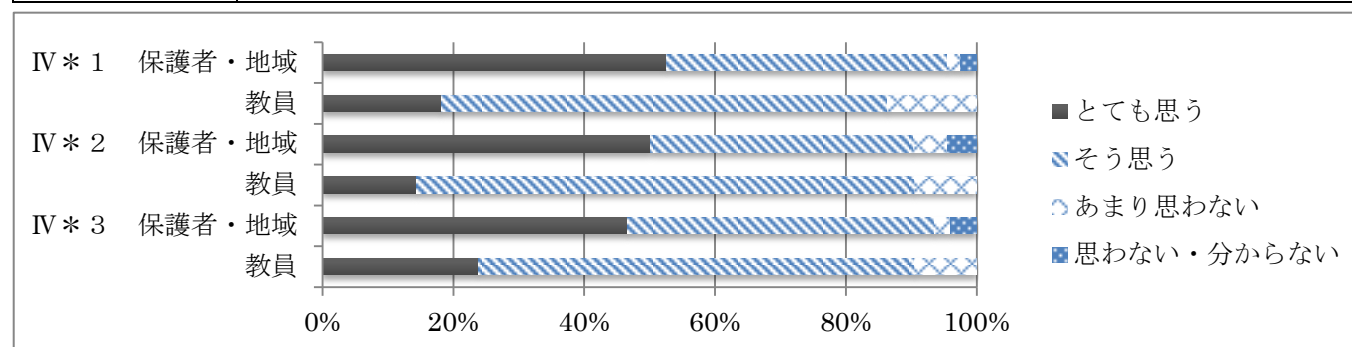
Ⅲ 社会性や人間性の育成について	
Ⅲ*1	学校は、挨拶や言葉遣い等の基本的生活習慣が身に付くように指導している
Ⅲ*2	学校は、道徳授業や日常生活を通して思いやり等、「心の教育」に努めている
Ⅲ*3	学校は、行事や生活指導等を通して集団のルールや規範意識を育てている



<Ⅲ 全般について>

学校は、道徳授業の他に、日常生活における生活指導等を通して生活習慣や規範意識の向上に努めている。また、幼稚園や保育園、光が丘第二中学校など、異校種と連携する取り組みを多く設定することで、人との関わりを深めている。さらに「思いやりの心」を育てていくために、学校と家庭がより連携し合いながら指導を重ねていく必要がある。

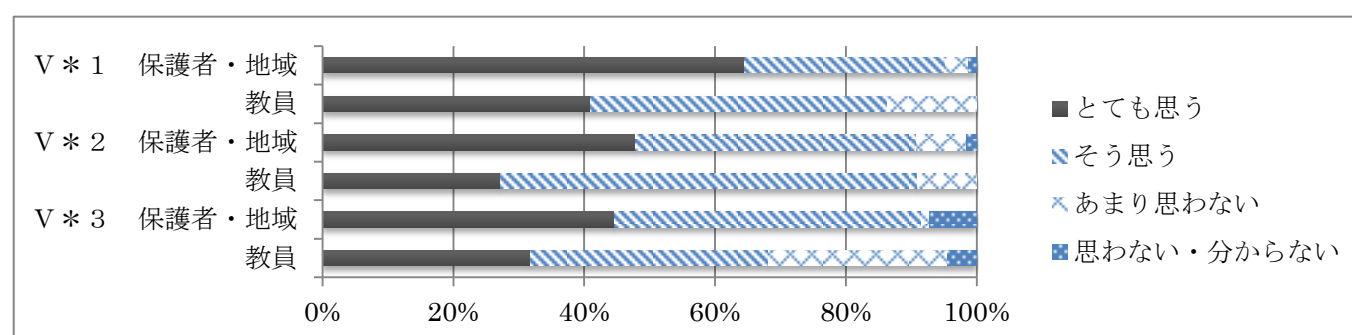
Ⅳ 健康安全指導や体力の向上について	
Ⅳ*1	学校は、体育の授業の充実や体力づくりの取組に努めている
Ⅳ*2	学校は、進んで運動したり、外遊びをしたりする子供を育てている
Ⅳ*3	学校は、子供たちに健康や安全についての指導を適切に行っている



<Ⅳ\*3について>

月1回の安全指導日や保健体育等の授業で、健康や安全についての指導は行っている。児童の日々の様子を見てみると十分に指導が行き届いているとは言えず、今後も指導を重ねていく。

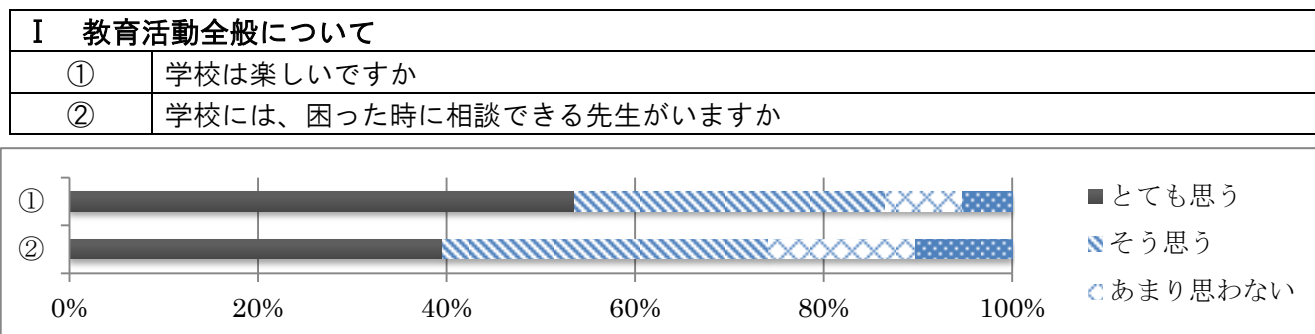
Ⅴ 保護者・地域との連携について	
V*1	授業公開や学校行事、保護者会等、学校の様子を知る機会が十分ある
V*2	学校は、各種便り、掲示板、HP等で教育活動を分かりやすく伝えている
V*3	学校は、地域や保護者等とよく連携して教育活動を進めている



<Ⅴ 全般について>

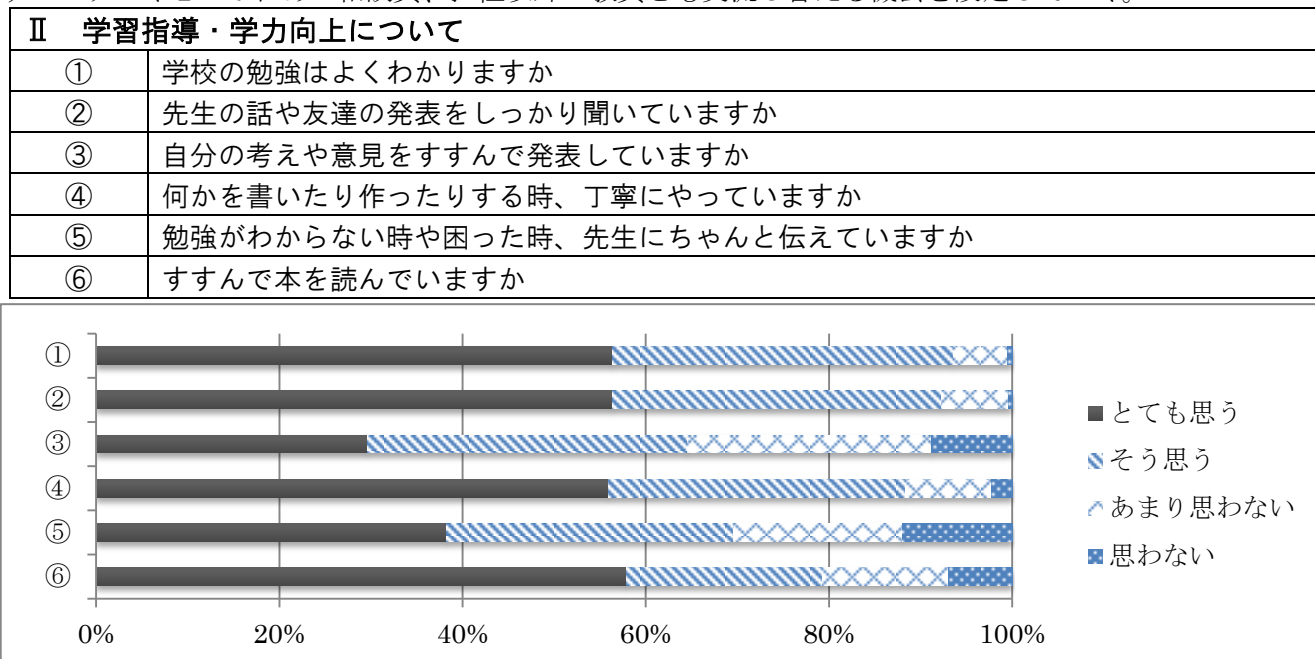
本年度は、学校公開日をはじめ、学校行事等で毎月来校する場を設定し、児童の学校生活の様子を知る機会を増やした。また、保教の会と連携し、学校行事には多くの保護者・地域の方々にボランティアとして参加していただいた。今後もあらゆる場面を通じ、学校側から積極的に保護者・地域に関わる努力をしていくようにする。

**【児童向け】**



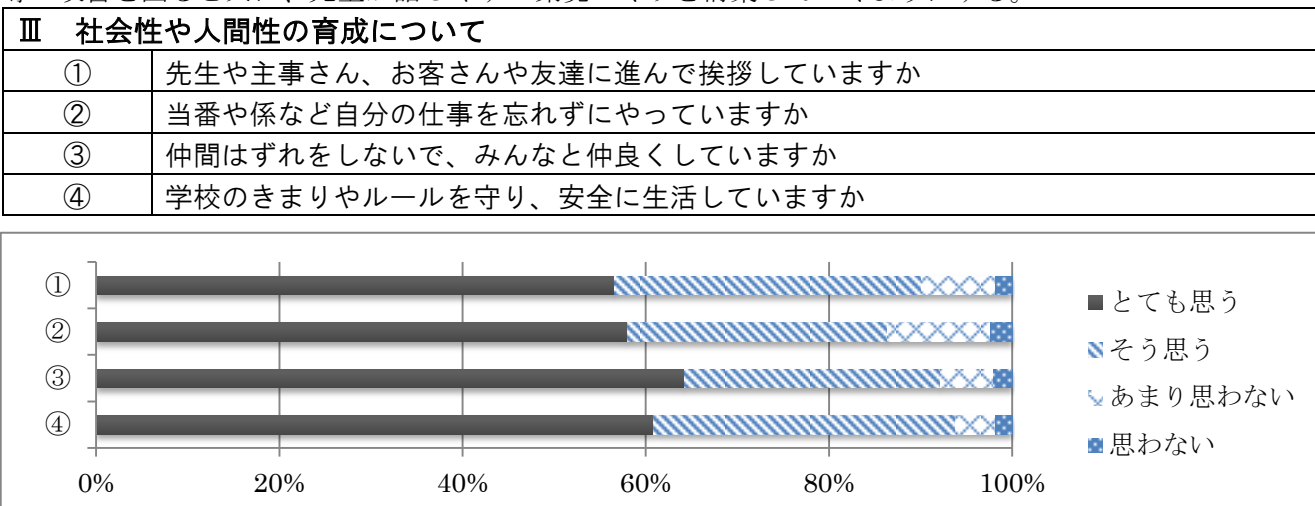
<Ⅰ-②について>

「相談できる先生がいますか」との問いでは、肯定的評価が7割にとどまっている。教員と児童の信頼関係をより深く築いていく努力をしていくとともに、困った時に相談室を気軽に利用できるよう、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、担任以外の教員とも交流し合える機会を設定していく。



<Ⅱ 学習指導・学力向上全般について>

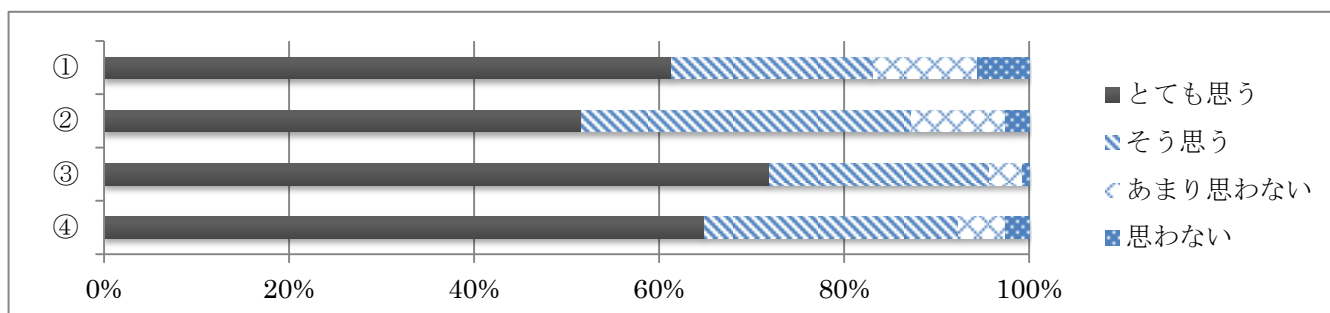
自分の考えを主体的に表出することを苦手と感じている児童が多くいることが、集計より読み取れる。友達や教職員との対応、学習環境の場でしっかりと自分の思いを伝えられる児童を育てていくために、学習指導の改善を図ると共に、児童が話しやすい環境づくりを構築していくようにする。



## <Ⅱ 全般について>

多くの項目で肯定的に捉えている児童が多い。当番や係の仕事については、他の項目に比べて否定的評価の割合が多く見られるので、児童の意識と行動を改善させていく指導を重ねていき、児童が気持ちよく学校生活を送れるようにしていく。

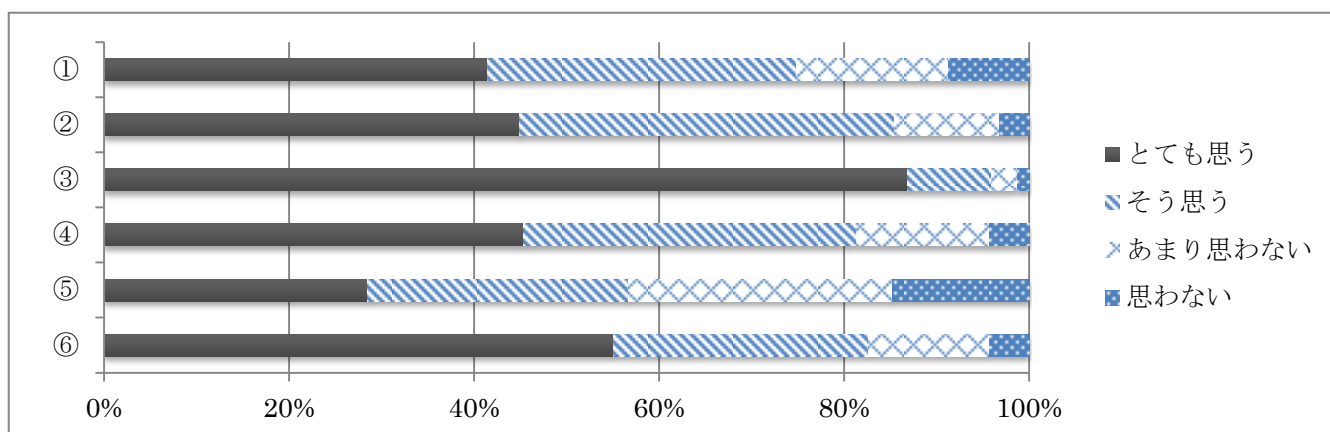
Ⅳ 健康安全指導や体力の向上について	
①	外で元気に遊んだり、すすんで運動したりしていますか
②	うがいや手洗いなど、清潔や健康に注意していますか
③	交通ルール（歩き方、自転車の乗り方など）を守っていますか
④	外での遊びの約束（遊び方、場所、帰る時刻など）を守っていますか



### <Ⅳ-①について>

学年が上がるにつれて外遊びをする児童の割合が減少し、中休みや昼休みに教室・図書室にいる児童も見受けられる。持久走やなわとびの体力向上月間など、体育的活動の充実を図りつつ、すすんで外遊びをする環境づくりをしていく必要がある。児童のさらなる体力向上を目指すためにも、引き続き外遊びや健康管理の励行をすすめていく。

Ⅴ 保護者・地域との連携について	
①	早寝早起きをしていますか
②	授業に使う物の準備を忘れずにできていますか
③	朝ご飯を毎日食べていますか
④	お手伝いや家の仕事をやっていますか
⑤	地域や保教の会等の行事にすすんで参加していますか
⑥	家や学校の外の知り合いにもすすんで挨拶していますか



## <Ⅴ 全般について>

地域や保教の会等の行事への主体的な参加については、昨年度に比べ、「とても思う」の割合が増加しているものの、6割に満たない。行事の周知を丁寧に行うと共に、教職員もすすんで地域行事に参加し、学校・保護者・地域が一体となって取り組んでいくことを目指していく。他項目では、早寝早起ができていないと回答する児童が2割を越えるなど、生活リズムにも課題が残る。規則正しい生活習慣を児童に身に付けさせるために、保護者会やたより等で家庭にも協力を要請していく。